

公益社団法人遠賀町シルバー人材センター令和3年度 事業報告

(事業概要)

令和3年度の我が国の経済は、一昨年発生した新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより、数回に亘る緊急事態宣言や蔓延防止措置が取られたため、正常な経済活動が阻害され、諸物価の高騰によりマイナス成長を余儀なくされました。

当センターの令和3年度の正会員の状況は、入会者21名、退会者16名で5名の増加となり、期末での正会員数は155名となりました。

正会員数は、ここ数年大幅な減少傾向となっておりましたが、「1地域班1会員増加運動」の取組みの成果と会員入会奨励制度等の導入の効果もあり、会員数の減少傾向によりやく歯止めが掛かったかに思えます。

事業実績については、契約金額が67,265千円となり、前年度実績との比較では、受託事業が399千円の増加、独自事業が166千円の減少となりました。

また、派遣事業は383千円の増加となりました。

受託事業では、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、公共、民間企業、一般・家庭共、受注件数の減少や受注内容等の変更により、契約金額が減少しました。独自事業（サツマイモの栽培・販売事業）は、夏場の長雨の影響を受け生育が思わしくなく、またイベントの中止等により売り上げは減少しました。

なお、受注内訳は、「公共」からの受注額が42,757千円（構成比63.5%）、「民間企業」からの受注額が7,772千円（構成比11.6%）、「一般・家庭」からの受注額が16,693千円（構成比24.8%）、「独自事業」の受注額が43千円（構成比0.1%）でした。

次に、安全就業につきましては、「安全は全てに優先する」を合言葉に、「事故ゼロ」を目指して取り組んでおりましたが、残念ながら事故発生件数は傷害1件、賠償2件でした。

来年度は「事故ゼロ」を必ず実現するため、会員ひとり一人が「決して事故は起こさない」、「自分の身は自分で守る」等の安全就業に対するなお一層の強い目的意識を持ち、常に緊張感を持って就業されることを期待いたします。

以下、令和3年度の事業実績ならびに実施状況等について報告致します。

(事業実施報告)

一 雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の確保・提供事業、社会参加のための支援(公益目的事業)

1. 就業開拓提供等事業

(1) 受託事業(一般)

- ① センターが受注した仕事の提供は、地域班及び職群班組織を活用し、公平な就業機会を提供するためのローテーション就業を継続的に推進した。
- ② 地域に密着した就業を行うために、心身共に働く意欲のある会員の入会を促進するとともに、就業機会の開拓や就業分野の拡大に努めた。

③ 福祉・家事援助・育児支援サービス事業を円滑に推進するために、サービス提供会員の拡大や研修、講習会等への参加により専門知識を高め、行政・福祉関係機関との連携や情報提供を密に行いながら、地域社会の要望に的確に対応できるよう体制づくりに取り組んだ。

④ 令和3年度実績

就業実人員	就業延人員	就業率	契約金額
118 人	11,784 人日	76.1%	67,222 千円

⑤ 主な就業分野

- ア、一般家庭、民間企業、公共緑地施設等の樹木の剪定・草刈・草取り・消毒・施肥、河川の清掃及び草刈、農作業
- イ、公共施設等の屋内清掃、一般家庭・民間企業の室内清掃、墓地の清掃
- ウ、公共施設等の受付及び管理
- エ、小・中学校給食配送、町広報の配布、要介護認定関係文書收受、酸性電解水生成・配送、介護パンフレット配布
- オ、在宅高齢者等軽度生活援助、介護施設のデイサービス利用者等への配食、介護用ベッド設置・回収等の福祉・家事援助サービス
- カ、選挙ポスター掲示板設置及び撤去、選挙公報仕分け及び配布、文化祭等の会場設営及び撤去
- キ、宛名書き、交通量調査

(2) 独自事業

高齢者の知識・経験・能力を生かし、地域社会へサービスを提供するため、独自の創意と工夫により、次の事業を企画し実施した。

① 高齢者の就業機会を広げるため、町の所有地を無償で借用し、シルバー農園としてさつま芋の栽培を行ったが、生育時期の8月の長雨により収穫量が激減したため、幼稚園等の芋掘り体験は受け入れ規模を大幅に縮小して実施した。

また、本年度においても新型コロナウイルス感染症の影響により、町主催の健康福祉まつりが中止となり、さつま芋の販売ができなかったため、公共施設等を利用して一般住民に販売した。収穫後は、れんげ畑として景観美化活動を行った。

② 令和3年度実績

就業実人員	就業延人員	就業率	契約金額
9 人	46 人日	5.8%	43 千円

二 雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の確保事業(公益目的事業)

1. 職業紹介事業

雇用を希望する高齢者に、「臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務」の範囲において、企業等からの求人・求職の依頼、紹介の実績はなかった。

2. 労働者派遣事業

雇用を希望する高齢者に、「臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務」の範

困において、就業機会を確保するとともに適正な運営のために派遣事業を実施した。

① 令和3年度実績

就業実人員	就業延人員	就業率	契約金額
25人	2,173人日	16.1%	7,543千円

② 令和3年度実績主な就業分野

- ア、小・中学校(5校)施設等管理
- イ、不法投棄防止環境パトロール
- ウ、福祉施設のデイサービス送迎車両運転
- エ、福祉施設の通所サービス運転代行

三 高齢者の就業機会の確保や社会参加活動を発展・拡充するための普及啓発、情報提供、研修・講習、相談・助言、調査研究等(公益目的事業)

1. 普及啓発事業

(1) 広報活動

- ① ここ数年会員数の減少が続いており、会員拡大のために「1地域班1会員増加運動」、「新規会員紹介者への特典」等、会員増加のための取り組みを充実させた。
- ② 会報「シルバーおんが」を年1回町内の全世帯・企業等に配布し、センターの仕組み、会員の活動状況等を掲載し、シルバー事業に対する理解を求めた。
- ③ 会員を対象とした機関紙「ふれあい」を年2回発行し、会員の声、地域班及び職群班の活動状況等を掲載し、シルバー事業の周知、意識啓発を行った。
- ④ ホームページや行政機関の広報誌等を通じて、公共団体、民間企業、地域住民にシルバー事業の情報提供、啓発活動を行った。
- ⑤ 遠賀町発行の「暮らしの便利帳」に会員募集の広告を掲載し、関係機関や地域住民にシルバー事業の普及啓発を行った。
- ⑥ 遠賀町主催の「健康・福祉まつり」が、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となり、シルバー事業の普及啓発を実施することができなかった。

(2) 社会参加活動

町庁舎及び施設周辺の清掃活動は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり実施できなかった。

2. 安全・適正就業推進事業

(1) 安全就業対策

- ① 安全就業推進委員会を年5回開催した。
 - ア、安全就業対策実施計画を策定した。
 - イ、安全パトロールを年4回実施し、推進委員により1回あたり2箇所の就業現場を巡回指導した。
 - ウ、就業中の事故について事故原因の分析を行い、会員へ周知徹底するとともに、同一事故の再発防止を図った。
- ② 就業前の作業の安全を徹底するため、ミーティングを励行し、安全用具及び機械器具類の始業点検を行った。

③ 安全就業に関する標語を募集し、優秀作品の表彰とシルバー会報へ掲載し、就業中の安全の意識を高めた。

(2) 適正就業の徹底

シルバー人材センター事業は、「臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務」が基本であり、月10日以内、週20時間以内の就業が適正就業であるため、ワークシェアリングによるグループ就業やローテーション就業などを継続的に進め、仕事の分かち合いを図った。また、関係法令を遵守するために一般労働者派遣事業への取組みを実施し、適正な事業運営に努めた。

3. 相談事業

入会を希望する地域の高齢者を対象に入会説明を実施し、来訪者や電話等での相談に対応するほか、未就業者及び少数日数就業者の実態把握に努め、地域班会議や職群班会議において就業に対する意見聴取や相談等を行った。

4. 研修・講習事業

例年、交通安全講習会を実施していたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり実施できなかった。